心筋パッチ

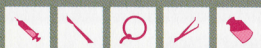
使用器具 評価ポイント ○

臓器の運動を手助けする心筋パッチを張る術式。処置法は患部を消毒し、心筋パッチをガイドと同じ向きで設置するだけ。設置時の評価は、ガイドとほぼ同じ角度（88～92度）で「Cool」、多少のズレ（85～87、93～95度）が「Good」で、それ以外は「Miss」で必ず心停止になる。ガイドが動くときはその動きに合わせて張る必要がある。

心筋パッチを張る角度も重要だが、ガイドが動いたときは、その大きさも注意しなければならない。

評価ポイントに関わる要素
- 心筋パッチ配置時はガイドの位置と角度に注意する
- 心筋パッチをミスなく配置する

［手順］
1. ヒールゼリー　閉塞箇所に塗る
2. ピンセット　心筋パッチを閉塞箇所に乗せる

虫垂摘出

使用器具 評価ポイント ○

盲腸にできた虫垂を摘出する術式。鎮痛剤（白色の液体）を患部に投与すると虫垂間膜にガイドラインが表示されるので、まずはそれを切除する。つぎに虫垂と盲腸のあいだに2本のワイヤーを括り、ガイドラインにメスを入れて虫垂を切り離す。あとは虫垂を回収トレイに乗せ、残った切除痕に人工膜を乗せてヒールゼリーで定着させれば処置完了。腹膜炎を起こしている場合は同時に膿の処置も行なう。

膿の再発は処置後の総合評価に影響する。3回以下なら「Cool」、4、5回は「Good」になる。

［手順］
1. 注射　虫垂に鎮痛剤を投与する
2. メス　虫垂間膜を切り離す
3. ワイヤー　虫垂と盲腸のあいだを括る（2ヵ所）
4. メス　虫垂を切り離す
5. ピンセット　切り離した虫垂をトレイへ運ぶ
6. ピンセット　人工膜を切除痕に乗せる
7. ヒールゼリー　人工膜を定着させる

評価ポイントに関わる要素
- 鎮痛剤を正しい場所に打つ
- 虫垂や人工膜を落とさない
- 膿の発生回数を少なくする

靭帯接合

使用器具 評価ポイント ○

切断した靭帯を修復する術式。靭帯は4本で1セットになっており、まずは4本の靭帯を1本ずつ上に伸ばしてくっつける作業を行なう。4本の靭帯がくっついたら、その場所を縫合すれば処置完了。なお、痙攣発生時に処置を行なうと「Miss」になり、くっつけた靭帯は離れてやり直しになる。

［手順］
1. ピンセット　靭帯を繋げる
2. 針と糸　繋げた靭帯を縫う

評価ポイントに関わる要素
- 靭帯を正しく繋げる
- 縫合線の長さが規定以上あり、左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある

ガーゼパッキング

使用器具 評価ポイント ○

腎臓の破損部分をガーゼパッキングの手法で対処する術式。破損部分の血溜まりをすべて吸引し、追加トレイにある人工膜を6ヵ所すべてに置き、ヒールゼリーで定着させれば術式完了。途中で血溜まりが再発すると人工膜が剥がれてしまい、やり直しになる。剥がれた人工膜の枚数は総合評価に影響し、剥がれた枚数だけで評価した場合、2枚以下なら「Cool」、3～5枚が「Good」、それ以外は「Bad」になる。

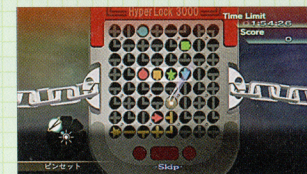
人工膜を線で囲まれた部分に置こう。2回以上ミスすると「Cool」評価は獲得できなくなる。

［手順］
1. ドレーン　血溜まりを吸引する
2. ピンセット　人工膜を6ヵ所に乗せる
3. ヒールゼリー　人工膜を定着させる

評価ポイントに関わる要素
- 人工膜をミスなく破損部分に乗せる
- 人工膜が剥がれるまえに破損部分を塞ぐ

パズル

使用器具 評価ポイント

設置されたパネルの処理を行なう。ピンセットでパズルのパネルを90度ずつ回転させ、パネルに描かれている線を繋げよう。4つの端子を同色の端子に繋げれば開錠だ。

パネルをつまんだ状態でWiiリモコンをひねると、ひねった方向にパネルが90度ずつ回転する。

［手順］
1. ピンセット　パネルを回転させる

熱病腫瘍

使用器具 評価ポイント ○

バイマセ熱で発生した熱病腫瘍を治療する術式。処置は組織液を吸引し、メスで患部を切り取ったら回収トレイに乗せるといった手順で治療可能だが、この腫瘍は赤と青に色が変わる特徴を持ち、赤のときに触るとガスを生み出す。治療済みの患部や熱病腫瘍の切除痕にガスが触れると血溜まりと炎症が発生するため、作業を青のときに行なう必要がある。ミスをしない自信があるなら、1つずつ患部を治療すれば問題ないが、安全に進めるなら回収作業を後回しにして、すべての腫瘍を先に切り離していまえばいい。これなら、そのあいだにミスをしても被害はバイタル低下だけですむ。

患部の色が変わるときは腫瘍が点滅する。青から赤に点滅するときに触っても「Miss」になる。

患部を回収するときも色が変わるので、青の状態でつまむ。一度つまむと色の変化は起こらない。

［手順］
1. ドレーン　組織液を吸引する
2. メス　熱病腫瘍を切り取る
3. ピンセット　熱病腫瘍をトレイに運ぶ
4. ピンセット　人工膜を切除痕に乗せる
5. ヒールゼリー　人工膜を定着させる

評価ポイントに関わる要素
- 組織液が再発するまえに熱病腫瘍を切り離す
- 熱病腫瘍を落とすことなくトレイに乗せる
- 赤色の熱病腫瘍には触らない